

中国地方整備局 同時発表

平成30年2月28日
道路局道路交通管理課

中山間地域における道の駅等を拠点とした自動運転サービス

道の駅「鯉が窪」^{こい くぼ}において実証実験をスタート～住民サービス部門 モデル道の駅を中心として
地域内の生活の足や物流の確保に向けた検証を実施～

道の駅「鯉が窪」^{こい くぼ}(岡山県新見市^{にいみ})を拠点とした自動運転サービスの
実証実験を3月10日(土)から開始します。

国土交通省では、高齢化が進行する中山間地域における人流・物流の確保のため、「道の駅」等を拠点とした自動運転サービスの2020年までの社会実装を目指し、全国13箇所で、順次、実証実験を行うこととしております。

今般、3月10日(土)から3月16日(金)までの間、道の駅「鯉が窪」(岡山県新見市)を拠点とした実証実験を実施します。実験では、市役所支局や診療所等が併設され、住民サービス部門 モデル道の駅に認定されている本道の駅を中心に、地域内の生活の足や物流の確保に向けて検証を行います。

実証実験の開始に合わせて、3月10日(土)に実験開始式を以下のとおり行いますので、お知らせ致します。(概要は添付資料をご覧ください。)

[実験開始式]

1. 日時 : 平成30年3月10日(土) 14時00分から
2. 会場 : きらめき広場・哲西^{てつせい}
(岡山県新見市哲西町矢田^{てつせいちようやだ}3604番地)
3. 主催 : 道の駅「鯉が窪」を拠点とした
自動運転サービス地域実験協議会
4. 概要 : 挨拶、実験概要説明、実験車両説明、
テープカット、実験車両試乗 等

※報道機関の方で取材、実験車両への試乗をご希望の方は、3月7日(水)12時までに、
以下へ別紙取材FAX申込書を送付下さい。

中国地方整備局岡山国道事務所(FAX:086-256-5134 担当:飯分^{いぶん}、谷口)



※本実験は、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)のプロジェクトの1つとして実施するものです。

問い合わせ先

国土交通省 道路局道路交通管理課 ITS推進室 馬渡・宮永(内線:37453、37462)
(代表)TEL:03-5253-8111 (課直通)TEL:03-5253-8484 FAX:03-5253-1617

実験開始式の概要

○日時：平成30年3月10日（土）14時00分から

○会場：〔式典会場〕きらめき広場・哲西 多目的ホール
（岡山県新見市哲西町矢田3604）

〔テープカット〕きらめき広場・哲西前駐車場

○主催：道の駅「鯉が窪」を拠点とした自動運転サービス地域実験協議会

○概要：受付開始 13時30分から
式典開始 14時00分から

- (1) 開催地挨拶
- (2) 来賓挨拶
- (3) 実験概要説明
- (4) 実験車両説明
- (5) テープカット
- (6) 実験車両試乗

※式典終了後、報道機関の方々や関係者が実験車両に試乗。

※報道機関の方で、取材・実験車両への試乗をご希望の方は、
3月7日（水）12時までに別添のFAX申込み書に記入の
うえご提出ください。

《会場案内図（駐車場あり）》



平成29年度 実証実験箇所 位置図

- : 地域指定型
主に技術的な検証を実施する箇所
- : 公募型
主にビジネスモデルを検討する箇所
- (点線): FS箇所
ビジネスモデルの更なる具体化に向けてフィージビリティスタディを行う箇所(机上検討)

岡山県新見市
(道の駅 鯉が窪)

今回実験箇所
3/10~3/16

島根県飯石郡飯南町
(道の駅 赤菜高原)

(11/11~11/17)

山口県宇部市
(楠こもれびの郷)

福岡県みやま市
(みやま市役所 山川支所)

(2/17~2/24)

熊本県葦北郡芦北町
(道の駅 芦北でこぼん)

(9/30~10/7)

徳島県三好市
(道の駅 にしいや・かずら橋夢舞台)

(12/3~12/9)

滋賀県大津市
(道の駅 妹子の郷)

富山県南砺市
(道の駅 たいら)

(11/26~11/30)

岐阜県郡上市
(道の駅 明宝)

秋田県北秋田郡上小阿仁村
(道の駅 かみこあに)

(12/3~12/10)

山形県東置賜郡高畠町
(道の駅 たかはた)

(2/25~3/4)

新潟県長岡市
(やまこし復興交流館おらたる)

北海道広尾郡大樹町
(道の駅 コスモール大樹)

(12/10~12/17)

栃木県栃木市西方町
(道の駅 にしかた)

(9/2~9/9)

茨城県常陸太田市
(道の駅 ひたちおた)

(11/18~11/25)

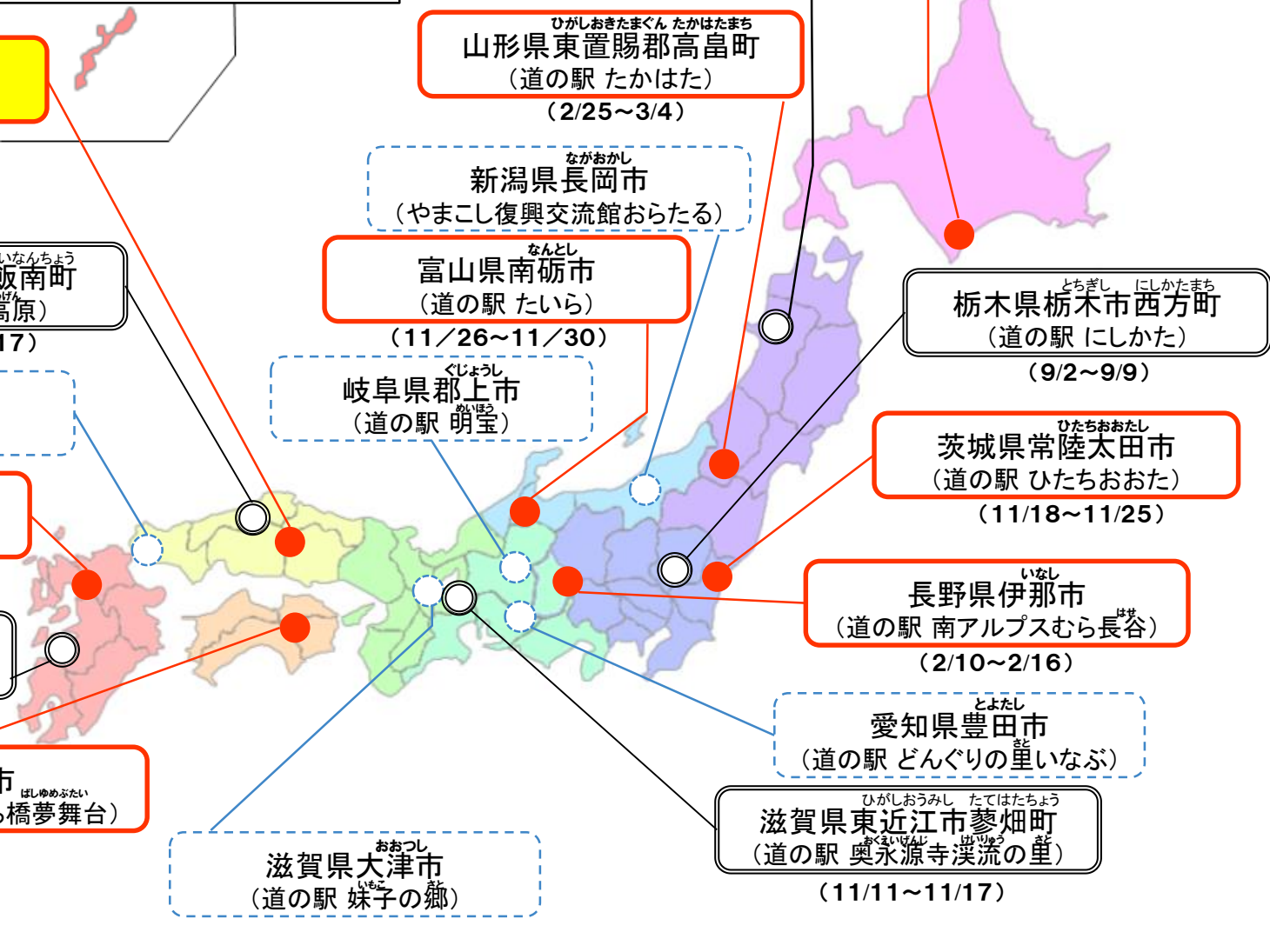
長野県伊那市
(道の駅 南アルプスむら長谷)

(2/10~2/16)

愛知県豊田市
(道の駅 どんぐりの里いなぶ)

滋賀県東近江市蓼畑町
(道の駅 奥永源寺漢流の里)

(11/11~11/17)



バスタイプ

①株式会社ディー・エヌ・エー



「レベル4」(専用空間)

「車両自律型」技術

(GPS、IMUにより自車位置を特定し、規定のルート进行 (点群データを事前取得))

定員: 6人(着席)
(立席含め10名程度)
速度: 10km/h程度
(最大:40km/h)

②先進モビリティ株式会社



「レベル4」(専用空間) + 「レベル2」(混在交通(公道))

「路車連携型」技術

(GPSと磁気マーカ及びジャイロセンサにより自車位置を特定して、既定のルートを走行)

定員: 20人
速度[※]: 35 km/h 程度
(最大40 km/h)

乗用車タイプ

③ヤマハ発動機株式会社 **【今回使用】**



「レベル4」(専用空間) + 「レベル2」(混在交通(公道))

「路車連携型」技術

(埋設された電磁誘導線からの磁力を感知して、既定ルートを走行)

定員: 4~6人程度
速度: 自動時 ~12km/h 程度
手動時 20 km/h未滿

④アイサンテクノロジー株式会社



「レベル4」(専用空間) + 「レベル2」(混在交通(公道))

「車両自律型」技術

(事前に作製した高精度3次元地図を用い、LIDARで周囲を検知しながら規定ルートを走行)

定員: 4人
速度[※]: 40km/h 程度
(最大50 km/h)

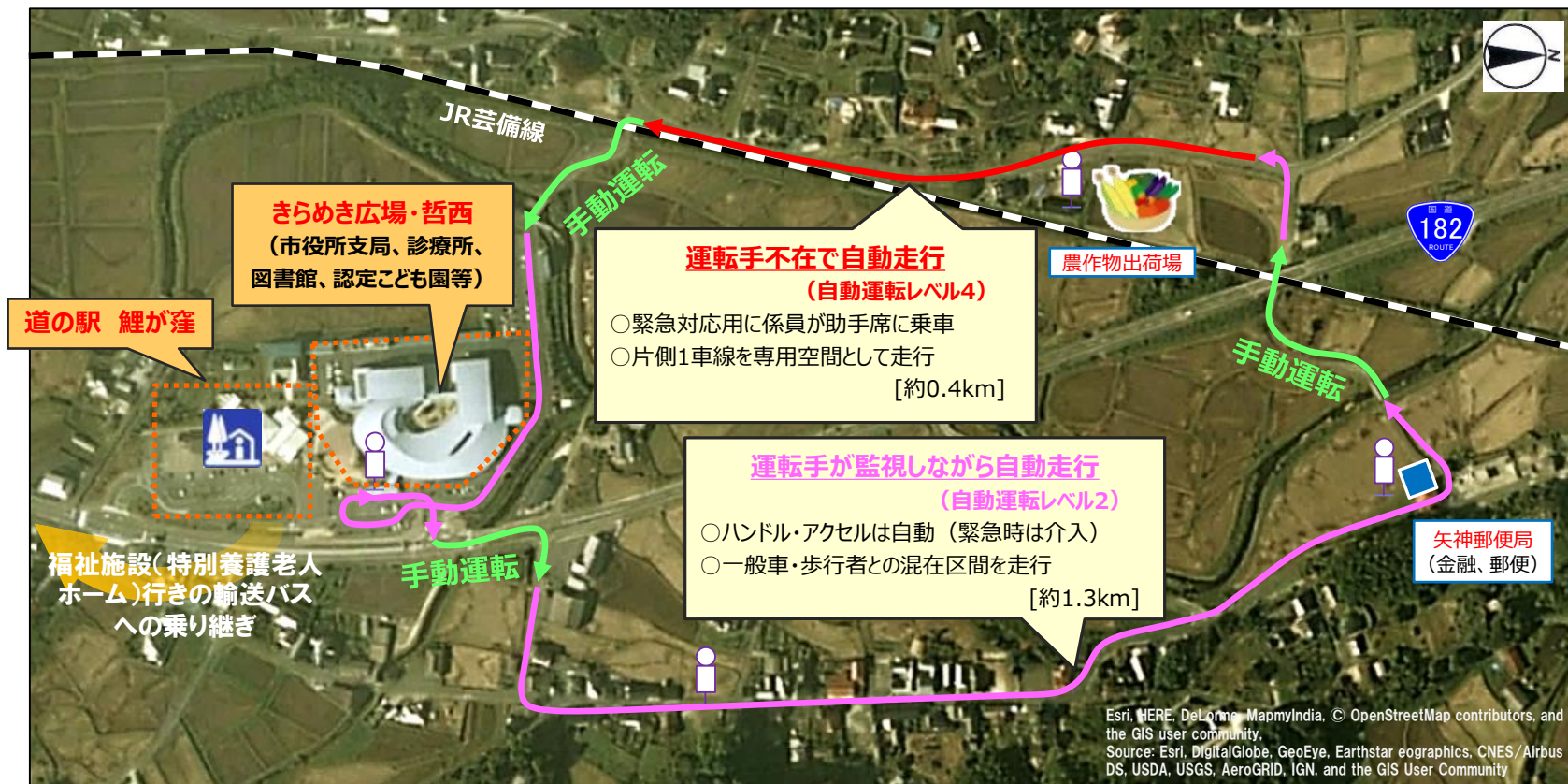
レベル4: 運転手が運転席に不在で、車両側が運転操作を実施 (ただし、交通規制により一般車両を排除した区間に限定)

レベル2: 運転手は運転席に着席するが、ハンドル等を操作せず、車両側が運転操作を実施 (ただし、緊急時は運転手がハンドルを握るなど運転操作に介入)

※速度は走行する道路に応じた制限速度に適応

GPS : Global Positioning System, 全地球測位システム

IMU : Inertial Measurement Unit, 慣性計測装置

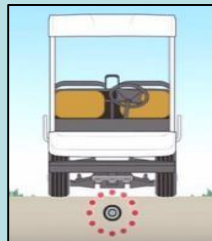


【実験車両】



- ヤマハ製(7人乗り)
- 今回の実験用に開発

【自動運転区間の構造】



- 電磁誘導線を敷設、実験車両を誘導

【実験スケジュール】

- 3/10(土)
・14:00～ : 実験開始式
- 3/11(日)～3/16(金)
・8:00～17:00 : 最大7便

※1回あたり約20分程度で走行
※乗車モニター約200名を想定

項目	実験において検証する内容	
①道路・交通	○相互に円滑な通行のための道路構造の要件 <ul style="list-style-type: none"> ・後続車の追い越しや対向車との離合を考慮した幅員 ・停留所の設置 ・歩行者、自転車との分離や共存 	○自動運転に必要となる道路の管理水準 <ul style="list-style-type: none"> ・路肩駐停車車両 ・狭隘幅員
②地域環境	○雨や濃霧等による前方カメラの検知能力	
③コスト	○電磁誘導線の整備、維持管理コスト	○車両の維持管理コスト
④社会受容性	○自動運転技術への信頼性、乗り心地	○運転者不在に対する心理的影響
⑤地域への効果 （ビジネスモデルの検討含む）	○高齢者の外出機会の増加 <ul style="list-style-type: none"> ・市役所支局への行政手続き、診療所への通院、道の駅への買い物等への移動支援 ・特別養護老人ホーム施設行き福祉輸送バスへの乗り継ぎ支援 ○園児の通園手段の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・認定こども園への安全な通園手段としての利用 ○円滑な地域内物流の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・農産物集荷場から道の駅への地元産品の配送（配送商品の損傷・荷崩れの検証含む） ・道の駅から事業所・施設などへの商品の配送（配送商品の損傷・荷崩れの検証含む） ○運営主体のあり方 <ul style="list-style-type: none"> ・自治体や交通事業者等の役割分担の検討 ○採算性確保の方策 <ul style="list-style-type: none"> ・将来の利用ニーズ（支払い意思額、求めるサービスレベル等） ・将来の地域の協力体制（企業支援等） ○他事業との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・実験参加者の将来参入ニーズ（高齢福祉サービス業者等） ・新たな連携先のニーズ（観光事業者等との連携） 	

岡山県新見市：道の駅「鯉が窪」

- 高い拠点性をもつ「住民サービスモデル道の駅」を中心に、自動運転で地域内の生活の足や物流を確保
- 既存の先駆的な高齢者福祉サービス（デマンドバスや宅配・安否サービス等）と連携

<サービスイメージ>

道の駅「鯉が窪」

H28住民サービス部門モデル道の駅



市役所
支局

診療所

図書館

認定
こども園



集落



生産地
(農産物)

- ◇貨客混載輸送
 - ・生活の足の確保
 - ・地元産品の集荷



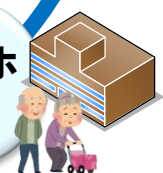
高齢者福祉 サービスの取組

- ◆高齢者のためデマンドバスを運行



- ◆宅配サービス・高齢者の安否確認を実施

老人ホ
ーム



集会所

<ビジネススキーム>

地域住民

農家

観光客

移送、商品配送
サービスに対する
運賃、配送収入

農産品配送
サービスに対する
配送収入

移送サービス
に対する
運賃収入

運営主体：NPO法人等

〔運営側〕

地域協力金
(設立時負担)

委託
(自動運転サービス
以外含め)

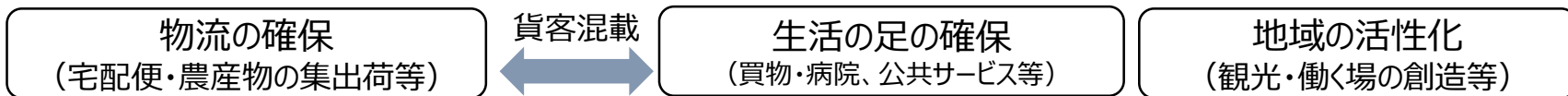
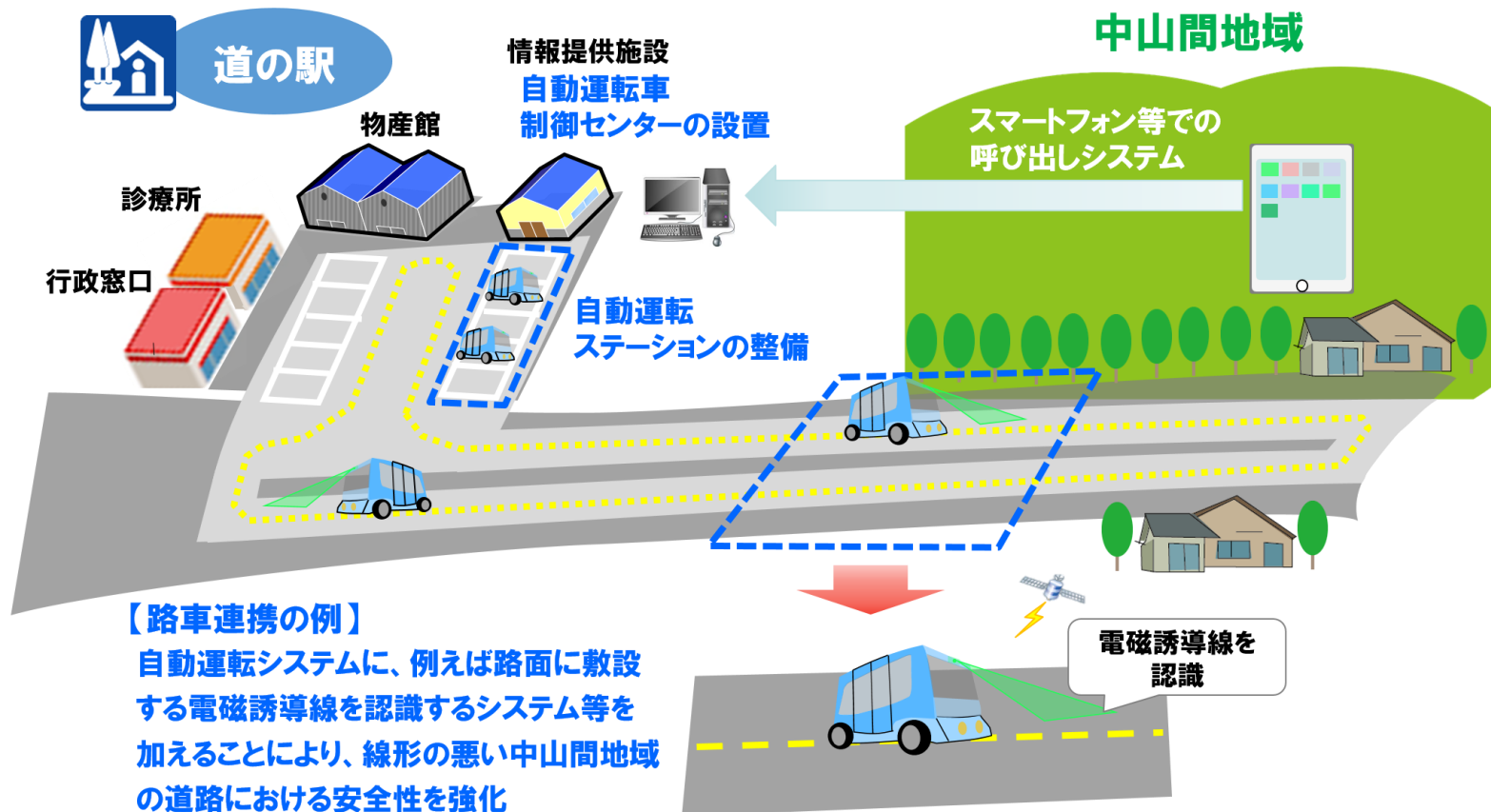
商品配送
連携

地域住民

行政・
民間事業者
等

道の駅

- 高齢化が進行する中山間地域において、人流・物流を確保するため、「道の駅」等を拠点とした自動運転サービスを路車連携で社会実験・実装する。



全国 13 箇所で順次実験開始 (9/2~)

取材・実験車両への試乗 FAX申込み書

取材・実験車両への試乗を希望される報道関係者は、本紙で事前登録をお願いします。折り返し、お車でお越しの方には駐車証を送付させていただきます。

また、以下の事項に十分留意いただき、行事の円滑な遂行にご協力くださいますようお願い申し上げます。

◆ **3月7日（水）12時まで**に必ず**本紙で事前登録**をお願いいたします。

事前登録がされていない場合、実験車両への試乗はできません。

◆ 駐車台数は会場の都合により、原則として1社1台でお願いします。

中継車などの大型の放送機材車両の駐車が必要な場合には、別途事前にご相談ください。

◆ 送付された駐車証を持参のうえ、会場付近では誘導員の指示に従ってください。

◆ 当日、記者及びカメラマンの方は、自社の腕章を着用して頂きますようお願いいたします。

◆ 異常気象等により実験車両の試乗走行を行わない場合があります。

国土交通省中国地方整備局

岡山国道事務所 計画課 自動運転実証実験担当 宛 FAX番号：086-256-5134

平成30年3月7日（水） 12時〆切

貴社名	
ご参加人数	人（うち試乗希望 人）
ご担当者氏名	氏名
	所属部署名
ご連絡先	郵便番号 〒
	住 所
	電話番号
	FAX番号
	E-mail
車両ナンバー	

※送付状は不要ですので、必要事項を記載のうえ本紙のみをFAXして下さい。